

受賞名	埼玉県知事賞	部門名	建築部門
作品名	微気候を考えたパッシブデザインの家		
応募者名	株式会社小林建設 代表取締役 小林 伸吾		
住宅の概要	住所 埼玉県北本市	構造・階数 木造2階	延床面積 134.42 m ²
環境への工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自然材料の利用や資源循環の長寿命化に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 2 省エネ設計手法に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 3 自然と共生し、自然通風など自然力利用に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域の林業、気候風土・歴史的技術の継承などへの工夫 <input type="checkbox"/> 5 災害時でのLCPが継続できる工夫 <input type="checkbox"/> 6 その他の独創的な工夫		
作品の説明	<p>まず「微気候」を快適にすることから計画した建物です。</p> <p>敷地に対して、建物をナナメに配置することで敷地に「余白空間」を作りました。一般的な考えように、敷地の間口めいっばいに建物配置をした場合と比べると、通風、採光の効果が大きく異なると考えています。これは計画段階で「通風シミュレーション」「照度シミュレーション」を行うことで確認しました。</p> <p>また、建物内部計画においても「大空間にすることで通風採光効果を高める」「日射を方位別で対策」「木材を使った造作家具」というパッシブデザインを取り入れました。そして、その設計意図・住まい方を施主にわかりやすく伝える事を行い。設計通りにパッシブな暮らしをできるようにしました。</p>		
講評	<p>今回多くの作品を応募いただきました。いずれの作品も素晴らしかったのですが、中でも、この作品はパッシブデザインを活用した住まい手にとっても優しい住宅だと評価いたしました。興味深かったことは、建物全体を方位に沿って斜めに建てられたことです。それにより、自然の光や風を建物内に最大限に取り入れることが可能となり、結果健康面にも配慮することができ、住まい手の生活の質を上げるものだと思います。また、緻密なデータを採取されており、省エネ住宅としても評価できました。</p> <p>さらに、県産材の活用による木材の地産地消や日射遮蔽による熱の管理等、環境に配慮した低炭素な住宅だと言えます。(講評者：秋元委員)</p>		